

男鹿市地域おこし協力隊活動プログラム

テ ー マ	おが暮らし移住定住サポーター（移住定住促進）
目 的	男鹿の暮らしの魅力を広く発信・PRすることで、交流・関係人口の拡大及び将来的な移住者の増加を図る。
活動内容	①移住検討者に対するサポート、②移住体験住宅の運営補助、③男鹿市移住・定住ポータルサイトの運営、④移住・交流イベントへの参加、⑤SNS等を活用した地域の魅力発信

1. 求める人物像

性格	<ul style="list-style-type: none"> ・世代を問わず他者とのコミュニケーションを楽しめる（コミュ力高い） ・伝統文化、地域のお祭りなどの行事に興味がある（地域と関わりたい） ・自身が発見した地域の魅力を広く発信したい（伝えたい）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人としての基本的マナーが身についている ・地域の文化や習慣などを尊重できる ・不便さも含めて田舎暮らしを楽しめる

2. 必要な資格等

資格等	自動車運転免許
資金	－
その他	イベントの企画・運営経験、動画編集やデザイン等のスキルやがあればなおよし

3. 活動目標

1年目	地域のキーマンや集落支援員との関係づくり、各地域の魅力の発掘と発信、地域行事への積極的な参加
2年目	情報発信の頻度増加と移住者交流イベントの企画・開催、地域行事への積極的な参加やお手伝い
3年目	情報発信及び移住者交流イベントの継続と任期終了後の定住を視野に入れた活動

4. 任期終了後の進路イメージ

独立	移住コーディネーター等（市と連携）、個人事業主、起業
就職	集落支援員などの市の会計年度任用職員に再任用、民間企業への就職
その他	秋田県地域おこし協力隊ネットワークとの業務提携（副業）

5. サポート体制／内容

□配属先：男鹿市総務企画部企画政策課 移住定住促進班 担当職員：伊藤大輔			
※活動の拠点は市役所内の企画政策課となります。着任時に隊員用のデスクやPC、活動用の端末等を用意します。			
1年目	<ul style="list-style-type: none"> ○班のメンバー及び担当職員の指導やサポートのもとで、まずは環境や業務に慣れていきましょう。 ・コミュニティセンター等関連部署や地域の関係者、キーマンとの顔合わせ（つながり作り） ・男鹿市の概況や行政運営、予算執行についてのレクチャー ・協力隊としての知識獲得やスキルアップのための研修会等の情報提供と参加調整 ・日々の活動や生活に対する相談対応やアドバイス、協力隊活動に必要な経費の管理 	関連団体	<ul style="list-style-type: none"> ・総務省（地域おこし協力隊制度を所管しています） ・秋田県 あきた未来創造部 移住・定住促進班（総務省からの情報を共有してくれるほか、県内の協力隊を対象とした研修や交流会等を開催しています） ・秋田県地域おこし協力隊ネットワーク（県内の協力隊OB/OGメンバーで構成され、協力隊制度を導入している県及び市町村、現役の協力隊をサポートしています）
2年目	<ul style="list-style-type: none"> ○自身の業務ルーティンにも慣れ、内勤（管理業務や情報発信のための編集作業、移住相談対応等）と外勤（イベント開催に向けた打ち合わせや情報発信のための取材・撮影等）のバランスを自主的に設定しましょう。 ・業務バランスや内容等の確認と調整・アドバイス ・更なるステップアップや任期終了後の起業・独立に向けた研修会等の情報提供と参加調整 	その他	<ul style="list-style-type: none"> ○活動期間中の定例的な会議や打ち合わせ等については概ね以下のものがあります。 ①担当職員とのスケジュールや業務確認（日次／週次） ②所属班全体での定例会（前月の報告や当月の予定等）（月1回） ③市内で活動する他の協力隊との情報共有会（月1回程度） ④関係者や地域住民への活動報告会（年1回） ⑤次年度の予算獲得に向けた業務打ち合わせ（10～11月頃） ○活動用の自動車は市で用意し、燃料費も市が負担します（プライベートでの使用は不可） ○住居については家族構成等に応じて紹介もしますが、最終的には隊員になる方に決定していただきます。なお、アパート等の賃借料（5万円程度／月）や火災保険料、契約に係る初期費用は原則市が負担しますが、引っ越しに係る費用及び水光熱費は自己負担となります。
3年目	<ul style="list-style-type: none"> ○任期終了後の定住に向けた活動も視野に入れ、年間のスケジュールや業務量を担当と決めましょう。 ・主に起業、独立、就業等に向けた研修会等の情報提供と参加調整 ・日々の活動や生活に対する相談対応やアドバイス、協力隊活動に必要な経費の管理 ・任期終了後の定住に関するアドバイス ・起業支援補助金活用に向けた相談対応 		

6. 活動スケジュール (イメージ)

		1年目				2年目				3年目				4年目以降	
		4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月		
	移住定住促進 関連	<ul style="list-style-type: none"> ・移住相談等サポート ・移住体験住宅運営補助 ・移住定住ポータルサイト「おが住」の運営 ・移住者を対象とした交流イベントの企画・開催 												協 力 隊 活 動 終 了	【退任後の活動イメージ】 <ul style="list-style-type: none"> ・移住コーディネーター ・二地域居住コーディネーター ・移住定住促進を目的としたNPO等団体立ち上げ ・職務経験者としての公務員 ・集落支援員など市の会計年度任用職員として再任用 ・起業 ・個人事業主 ・民間企業へ就職 ・秋田県地域おこし協力隊ネットワークに参画し後輩隊員のサポート
		移住関連イベントへの参加			移住関連イベントへの参加				移住関連イベントへの参加						
	情報発信関連	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容や地域の魅力をSNS等で発信 ・広報掲載記事作成(年3回ベース) 													
				活動報告会				活動報告会					活動報告会		
	事務関連			予算編成会議				予算編成会議				予算編成会議			
個人	行事・イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・寒風山山焼き(4月) ・全国男鹿駅伝競走大会(6月) ・雲昌寺のアジサイ(6-7月) ・男鹿ナマハゲロックフェスティバル、男鹿日本海メロンマラソン(7月) ・男鹿日本海花火(8/14) ・秋田船方節全国大会(11月) ・男鹿のナマハゲ(12/31) ・なまはげ柴灯(せど)まつり(2月) 													
	日常生活	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて地域行事・イベント等に積極的に参加することで地域の歴史や風土を知る ・地域住民との交流を通じて顔の見える協力隊を目指す ・移住者目線での地域の魅力を発見する 						<ul style="list-style-type: none"> ・業務量調整 ・起業・就職・定住に向けた活動や研修会参加 ・起業支援補助金活用の検討 							
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・担当職員や市内で活動する他隊員との定例的な会議・報告会等への出席 ・国や県、団体が実施する研修会への出席 ・県内で活動する他自治体の隊員との交流会やイベントへの参加を通しての仲間づくりやネットワークの構築 														

市担当者より

男鹿市は秋田県内でも少子高齢化や人口減少が顕著な地域ですが、その一方で、半島でのライフスタイルや文化・風土に魅かれて移住やUターンをしてくる方たちも毎年一定数おり、これまでの協力隊を含め地域のプレーヤーとして活躍している方も少なくありません。今後地方において、地域活力の維持や向上を図っていくためには、地元住民と移住者が一緒になって取り組んでいく必要があります。移住・定住の促進や移住者のコミュニティづくり、地域との協働といった取り組みは今後も推し進めていくべき重要な課題だと捉えています。

都市部に比べれば買い物や公共交通などは確かに不便かもしれませんが、「ナマハゲ」に代表される独自の文化や風土・精神性、半島ならではの海と山がもたらす豊富な食の恵み、季節ごとの美しさを見せる自然・景観、そしてここで暮らす人々の温かさは、都市部での生活とは違った豊かさを感じさせてくれるはず。地域おこし協力隊として着任した際は、移住定住促進班のメンバーや各コミュニティセンターの集落支援員があなたの仲間として一緒に地域づくりを行うとともに、男鹿のこと、地域のことを知り、少しでも早く地域に飛び込んで行けるようサポートします。経験の有無よりも、まずはあなたの「地域の魅力を発信したい」、「地域のために何か役立ちたい」という想いを持つ方を歓迎します。我々と一緒に3年間、男鹿の魅力をPRしながら移住定住の促進に取